

5月27日 災害時に命を守る料理を学ぶ

西原中学校3年生の家庭科の授業で災害時を想定したサバイバル料理を学ぶ授業が行われました。食生活改善推進委員が講師となり、2Lの水で4人分のおにぎりづくりに挑戦。「半透明のポリ袋は沸騰しても溶けないからこはんが炊ける。食器洗いの水を節約するために、紙で器をつくりポリ袋を被せてお皿にする。」などのサバイバル術を実践しました。講師を務めた比嘉清美さんは「災害時は限られた食糧で生きていけないといけない。自分の命は自分で守る心得を」と生徒に伝えました。



5月31日 小学生が議場見学&町長から西原町を学ぶ

西原南小学校6年生が議場見学のため役場に訪れました。児童たちは実際に議員席や傍聴席に座り、議会の雰囲気を経験。議会では何を話しているの？議員は何をする人なの？議会はいつやっているの？と次々と声が挙がり、初めての議場見学に興味津々の様子でした。



続けて崎原町長から西原町の名前の由来や歴史、文教の町のまちづくりについて説明があり、児童からは「なんで町長になったの？自転車用の道路を作してほしい」などの声がありました。

6月2日 公民連携による魅力あふれるまちづくり

「投資しなくなる街の作り方」をテーマに民間主導の公民連携の都市開発についての講話がさわふじ未来ホールで行われました。講師の岡崎正信さんは若手県柴波町で年間100万人が訪れる複合施設を作りあげた「オガールプロジェクト」や、南城市のコストコ隣接地に農業と観光を組み合わせた区画を開発する「ノウルプロジェクト」を手掛けています。岡崎さんは「民間と行政がそれぞれ得意な分野で協力してまちづくりを進め、地域の価値を高めることが重要。次世代に渡したいまちにするためにみんなで考えよう」と話しました。



6月3日 たいせつに みずは みんなのたからもの

6月1日から7日の全国水道週間にあわせて、西原町と西原町管工事組合による節水パレードが開かれました。節水パレードは水道に対する理解と関心を高めることを目的に行っています。パレードで看板やのぼり旗が飾られた町管工事組合の車両10台が、水資源の大切さを呼びかけながら町内を巡回しました。町管工事組合の狩俣吉信理事長は「水道施設の維持管理に取り組み、水資源の大切さをアピールしたい」とあいさつしました。



お問い合わせ先 文化課 文化財係 ☎0989-944-4998

ニシバル歴史の会の会員は、西原町教育委員会主催の「文教のまちガイド養成講座」の修了者を中心に構成されています。今年度はそのガイド養成講座開催予定の年です。興味のある方は、講座の詳細をお待ちください。

文化財コラム **ニシバル歴史の会**

ニシバル歴史の会は、平成二十四年に設立した町内の文化財ガイド団体です。町内にある文化財や歴史・文化・自然などを、西原町を訪れる人たちに分かりやすく安全に案内・説明する活動を行っています。

主に依頼を受けて町内の方へ町内文化財のガイド、小中学校への戦跡ガイドや西原町教育委員会主催事業「歴史の道を歩く」や「西原町地域散策」へ共催としてガイドを行っています。また、会主催事業として毎年八月頃に歴史講演会を開催しています。

現在ニシバル歴史の会の会員には、幅広い年齢層の二十四名が在籍しており、ガイド活動以外にも定期的な勉強会や研修会などへの参加を通して、自己研鑽に努めています。

本町の歴史にご興味のある方は、一度ガイドをお願いしてみたいかがでしょうか。

一方で沖繩県がマリリントンエリアに計画している大型マイン施設が令和十一年に開業予定となっており、多くの参加者がこの地域を訪れることが予想されています。その際には、近隣地域へアブタマースとしての様々な需要喚起が予想されることから、ニシバル歴史の会の役割も今後益々大きくなっていくことが考えられます。

わったまちの話題



4月・5月 ピカピカの1年生へ お守りプレゼント

西原町内の4児童館で活動するファミリークラブ会員の保護者より、町立4小学校の新1年生の児童のために手作りのお守りをプレゼントしました。

お守りは子どもたちの健全育成と交通安全を祈願したもので、子どもたちが「無事におうちへカエル」ことを願って、カエルのイラストがデザインされています。今年は4館あわせて348名の新1年生にお守りを贈呈しました。



▲ファミリークラブは「町の子はみんなわが子」を合言葉に、子どもたちの健全育成を目指して活動しています。

5月17日 中部の市町村職員が西原町の課題を研究 令和6年度 ゆがふう塾 入塾式



中部の9市町村の職員が地域の課題やその解決策を考える「ゆがふう塾」の令和5年度修了式と令和6年度入塾式がさわふじ未来ホールで行われました。26期生となる今年度は、町職員2名を含む16名の市町村職員が入塾しました。今年度は西原町の地域課題をテーマに調査・研究が行われ10月に報告会が開かれます。

塾長である名城大学の宮平栄治教授は「西原町は中部と南部の結節点であり、若い世代が多く住んでいる。西原町のこれからの考えていきたい」とあいさつしました。

5月22日 長年ご尽力された功労者へ

叙勲や有功賞を受章された3名の方が伝達式と受章報告のため役場に訪れました。安室自治会では長年、自治会長を務めている與那城幸清さんは日本赤十字社沖繩支部より銀色有功賞が贈られたため、伝達式を行いました。山里勝也さんは長年にわたり西原ハイソの自治会長として尽力し「旭日単光章」を受章され、伝達表彰を行いました。嘉手刈右和さんは東部消防組合の消防長として尽力され「瑞宝双光章」を受章されたため、受章報告をされました。受章された3名の方おめでとうございます。



5月24日 働く大人が中学生へ特別授業

西原中学校1年生の総合学習の時間に、西原町の働くスペシャリスト6人を招いた特別授業が行われました。製造業や農業に従事する方や南部広域行政組合、町の給食センターに勤める方など、様々なスペシャリストに体験談を交えながら仕事について話していただきました。パティシエの玉那覇勝さんは「チャレンジして失敗して人は成長する。失敗を恐れずにいろんな事にチャレンジしてほしい」とメッセージを贈りました。



5月26日 区民の想いがつまった公民館完成！ 棚原公民館落成式

旧公民館を62年ぶりに建替え、棚原公民館落成式が執り行われました。新公民館建設は補助金や区民から寄せられた寄付金が活用され、設計から施工まで区内の事業所の協力により新設されました。落成式典で棚原自治会の城間盛順会長は「ミルク加那志に見守られ、晴れてこの日を迎えることができました。棚原区民の想いと英知がつまった公民館を地域活動の場、憩いの場として100年先も活用してほしい」とあいさつしました。祝賀会では歌三線や踊り、ミルク太鼓が華やかに披露され、区を挙げて公民館の落成を祝いました。

